

令和4年度

宜野座村通所介護事業所事業報告書

自：令和4年4月 1日

至：令和5年3月31日

社会福祉法人

宜野座村社会福祉協議会

令和4年度通所介護事業所 評価・課題について

【管 理】

評 価

- ・朝のミーティング後に職員の心得を全員で唱和し、心を一つにして業務を始めることが出来た。
- ・勤務前と勤務後にミーティングを行い、情報を共有することが出来た。
- ・毎月1回以上の業務改善会議を行い、職員の意思疎通とサービスの改善を図ることが出来た。
- ・毎月1回デイサービス便りを発行し、利用者様やご家族、各居宅支援事業者へ配布し、活動内容を知らせることが出来た。
- ・新型コロナウイルス感染症拡大の中でも利用者様を増やすことが出来た。
- ・介護職員処遇改善加算金を前年度より増額し6月と12月に支給することが出来た。
- ・介護職員特定加算金により給与の上乗せができた。
- ・常勤職員の月給の増額とパート職員の時給を10円増額できた。
- ・毎月、各居宅支援事業所(11か所)へ報告書を提出し、情報の提供と連携を図ることが出来た。
- ・年1度の健康診断により職員の健康管理を行うことが出来た。

課 題

- ・管理者が通所と訪問の管理を兼務している。十分な管理ができず職員、利用者の方々に迷惑を掛ける事があり改善が必要である。
- ・利用者様が増えているにもかかわらず、職員の増員ができていない。
- ・常勤職員の有給休暇を十分に与えることが出来なかった。

- ・コロナ感染症の為、研修の機会が減り、職員の資質向上の機会を作る事がほとんどできなかった。
 - ・毎年健康診断の月が重なり、年度末慌てて受診しに行くので分散させたい。
 - ・前日の業務日誌を見て、情報を共有してもらいたい。
 - ・ケア会議、入浴の入れる方等は共通理解し、内容を把握して欲しい。
 - ・朝のミーティング直前に出勤する職員がいて、他の職員が注意するも、本人の改善がみられないので、厳重に注意する。
-
- ・職員の言葉使い、接遇に対し利用者様から度々指摘があり、その都度対応したが、十分に改善することが出来なかった。
 - ・通所介護サービス必要書類の作成が不十分（サイン、印鑑漏れがある）

【看 護】

評 価

- ・新型コロナウイルス感染症 陽性者が増加しクラスター発生にて8月25日～29日までの6日間閉鎖となった。最終的に感染者は利用者10名、職員1名となった。その間、利用者と同居家族の体調確認を行い、感染拡大防止ができた。
- ・保健所や沖縄県に相談や助言を受けて、クラスター発生以降の感染対策に生かすことができ、クラスター発生は未然に防ぐことが出来た。
- ・職員の定期的なPCR検査・抗原検査を予定通り実施できた。
- ・1月に新型コロナウイルス感染症の陽性者が職員で3名発生したが、利用者に感染することなく終結することができた。
- ・介護職と情報交換しながら業務にあたり、利用者の変化に気づき早めに病院受診を促してすぐに治療することができた。
- ・送迎中に利用者と職員が転倒し、利用者の状態を観察し速やかに病院受診などの手配ができた。
- ・ミーティングで多職種と情報交換を行い、統一した支援ができたことが多かった。

課 題

- ・定期的なケースカンファレンスができず、統一したケアが不十分であった。
- ・定期的にケースカンファレンスを開催し、病状の理解を深め、介助の仕方など職員間で統一した支援ができるよう努める。
- ・外部の研修にも積極的に参加し、知識を深めるよう努力する。
- ・利用者の方が安心して在宅生活を送れるよう、地域の関係機関とも情報交換に努めてく。
- ・緊急時の対応など、職員間で共通認識をもち冷静に対応できるように準備していきたい。

【機能訓練】

評 価

- ・看護師 2 名体制で 1 年間、機能訓練を実施する事ができた。
- ・令和 4 年度分の利用者全員の個別機能訓練計画書、運動機能向上計画書及び報告書を作成する事ができた。
- ・担当者会議の際に自宅状況を確認し家屋環境を評価するまでの流れがスムーズになっている為、時間的なロスが少なくなっている。
- ・訓練中大きな事故もなく実施できた。

課 題

- ・コロナ禍ではあったが依然として勉強会や研修が出来なかった。介護技術や認知症の対応など積極的に取り組む必要がある。
- ・利用者数の増加により機能訓練の順番を待つ方が多くなり、スムーズに実施できない事がある為、訓練項目や新しい器具の購入の検討が必要
- ・在宅での転倒が多く、事故が起こった後の検証など多職種での話し合いの必要性があると考えている。
- ・ヒヤリハットの報告が少なく危険性を軽減する取り組みができれば大きな事故を未然に防げると考えている。

【食 事】

評 価

- ・個々に合わせた料理を提供できた。（キザミ食、粥食、雑炊食など）
- ・害虫駆除は年1回から2回に(3月・10月)に業者に入って頂く様になり、害虫もほぼ見当たらず改良された。
- ・グリフトラップも奇数月に業者が入り、油、生ごみ等を回収、害虫が減った。サービスで、外からの蟻退治もしていただき厨房内の侵入も減ってきた。
- ・ストック類の保管にプランターを使い、用途毎に仕分け、ラベリングをして整理整頓した。どの職員でも残数の把握や買い物等の有無が一目瞭然となった。
- ・行事等の食事やデザートを美味しく準備提供し、喜んで頂いた。
- ・毎月職員の検便検査を行い、健康・衛生面に努めることができた。
- ・検食は管理職から、デイサービス職員に変更し毎日メニューノートにコメントを記入していただいた。
- ・検食バットを追加購入し、保健所からの指示(二週間)分を保管することができた。
- ・営業許可証が切れていたため、保健所に出向き3日間の停止はあったものの、現場の衛生面が保たれていると評価をいただき、講習を受け再度許可証を頂くことができた。また、保険の加入やハサップの指示も受け、健康管理・衛生面もリストチェックしている。
- ・冷凍庫の足のがたつきはブロックにて底上げし、床洗浄の時の水撥ねがなくなった。

課 題

マンパワーのスキルアップをはかり、健康面を注意しながら協力していきたいと思えます。

- ・小口現金をデイサービスと別にし、事務所での支払いにさせていただくよう話を進める。

- ・パートタイマーの有給取得と、ボーナス支給についても進めていきたい。
- ・グリストラップ周りの老朽化、工事の検討。蛍光灯からLEDへの変更も検討する。
- ・食事介助を必要とする利用者さんを、同じ職員が介助するのも良いが、全員が介助できるように把握する事が必要だと感じた。
- ・介助中、トイレ、口腔ケアなどで、動き出す利用者さんもいるので、その時は優先順位を考え、臨機応変にする必要がある。

【入 浴】

評 価

- ・シャワーチェアを2台購入し、安全に入浴介助ができた。
- ・皮膚観察を行いトラブルがあれば看護師が処置し、ご家族やケアマネへ連絡することが出来た。
- ・1年を通して転倒等1件の事故もなく、安心して入浴して頂いた。
- ・密集、密接する浴室においても、窓を開け換気を行う事で、新型コロナウイルス感染症を予防できた。

課 題

- ・入浴用のストレッチャーの購入ができず、職員の負担が増した。(購入検討)
- ・タオル類や私物の入れ間違いが多い時があった。よく確認が必要だった。利用者と家族に持ち物の名前記入を徹底していく。文書等でも周知を図る。
- ・入浴後の着替えの間違いがあり、利用者様・ご家族に迷惑をかけることがあった。
- ・入浴用ストレッチャーは、現在使用する方はいないが、今後の事を考え、購入検討して欲しい。
- ・浴室への冷暖房の検討して欲しい。

- ・今後の利用者さんの介護状態を考え、安全に介助する為、ストレッチャーを購入すべきだと思うが、ストレッチャーでの介助を勉強すべきだと思います。
- ・時々、着替えやタオルの入れ間違えがある為、名前の記載の確認が必要である。
- ・入浴中や後での、処置は早急でなければ、デイサービス室へ戻ってから処置して欲しい。そうすると、次の利用者さんのスペースができ、入浴できると思います。

【排 泄】

評 価

- ・歩行難や頻尿の利用者様には、トイレ近くになるように座席を配置し、安全に誘導することが出来た。
- ・定期的にトイレの声掛け誘導を行う事で、尿失禁を予防することが出来た。失禁時には、プライバシーに配慮しパットの交換ができた。

課 題

- ・自己にて気持ちを表せない利用者のトイレ誘導がおろそかになる時があった。
利用者全員の定期的な(4~5回/日)トイレ誘導・声掛けを心掛ける。
- ・排泄チェック表の記入漏れがあったので、拒否だったのか誘導できていないのか、不明点があるので理由も記入が必要。
- ・排泄が上手くできなくて、病院受診が必要になってしまうに、トイレの声かけ、誘導は大事なことだと思います。

【送 迎】

評 価

- ・非接触型の体温計は、新型コロナウイルス感染症の予防には効果的だった。が、体温の正確性には欠ける。

- ・送迎後の車内の掃除と消毒、送迎前の消毒と送迎中の換気を行い感染予防に努めた。
- ・利用者様の体温測定と体調確認を行い手指消毒後、乗車していただいた。
- ・新しいリフト車をレンタルし、心地よく送迎することが出来た。

課 題

- ・大きな事故はなかったが、送迎中に後方ガラスを破損や職員の転倒による骨折があった。
- ・訪問事業所と送迎車を共有している日は、誰が使用しているか把握できない時があるので明確にできたらよい。
- ・送迎時、職員自身の安全確認（体調面、服装や身だしなみ、履物）をお互いにチェックする。

【趣味・教養・手工芸・脳トレ活動】

4月 卓上鯉のぼり・貼り絵・ぬり絵(個別)

5月 花作り・切り絵

7月 風鈴作り(個別)

8月 風鈴作り(個別)

10月 廊下壁面用かぼちゃのはり絵

11月 2023年卯年壁面の花紙・木の実作り

12月 2023年卯年壁面のうさぎちぎり絵・クリスマスぬり絵

1月 誕生会用の文字 はり絵

2月・3月 脳トレ

- ・ぬり絵（幾化学模様、風景、人、動物、番号ぬり絵、記号ぬり絵）
- ・計算（100マスたし算、引き算・数字穴うめ・ミニナンプレ・お金計算・図形写し・図形カガミ写し・点つなぎ 30～130）

- ・漢字、読みがな（四文字言葉探し・間違い探し・しりとり・語想起問題・迷路・マス言葉探し・クロスワード）

評 価

- ・担当職員を配置し、利用者様の能力に応じて作業を行う事ができた。
- ・1年を通し、季節にあった作品を作り、福祉センター内とデイサービス室に展示し利用者様、来所者の方々に感動を与えることが出来た。
- ・感染予防対策として、壁面などの大きな作品はパーツを以前よりは細かくし、座席で製作できるように工夫ができた。
- ・個人ファイルを作成し、日々の活動の写真や、ぬり絵、脳トレプリント等を綴り、利用者様の生きがい作り、認知症の予防につながり、楽しく充実した時間を過ごして頂くことが出来た。
- ・出来上がった作品を持ち帰り、ご家族をはじめ利用者様に喜んで頂いた。
- ・脳トレのプリントなどは、ゆっくりと根気よく進めていくことで単純な計算から少し複雑な計算ができる利用者が増え、脳の活性化につながっていると実感できた。
- ・利用者によっては、いつも行っていた脳トレプリントなど以外な物も「やってみたい。」という積極的な発言が聞かれ意欲向上に繋げることができた。
- ・作品を保管する物置ができて、作品を整頓することができた。

課 題

- ・女性利用者が多いので、針と糸を使うような細かな手芸も取り組んでいきたい。
- ・担当職員の負担軽減として、他の職員の協力が必要。

【行 事】

評 価

- ・コロナ過の中、小規模ではあったが毎月午後のレクの時間に、利用者様の誕生日会を行い、職員の踊りと誕生者紹介、プレゼント贈呈を行い祝うことが出来た。
- ・午後のレク活動時に利用者様家族による民謡ショーのボランティア訪問が実現し、短時間ではあったが、皆さんに楽しい時間を提供できた。
- ・感染予防し、宜野座村祭りの展示物を見学することができた。また、利用者の皆さんの作品も見学でき作品作りの達成感を感じることができた。

課 題

- ・レクや行事で使用するカラオケの機材の不具合がしばしばあり、買い替えの検討が必要。
- ・コロナ禍の中で行事が縮小されていたので、次年度は以前のようなイベント（運動会や七夕祭りなど）を考えていきたい。